

八戸ブックセンターについて

1. 施設の概要

名 称	八戸ブックセンター
住 所	八戸市大字六日町16番地2 ガーデンテラス1階
面 積	約315㎡
開館時間	午前11時00分～午後8時00分
休 館 日	毎週火曜日（休日の場合は翌日）、年末年始（12月30日～1月1日）

2. 開設予定

平成28年10月から11月にかけて開設予定

3. 施設のコンセプト

八戸に「本好き」を増やし、八戸を「本のまち」にするための、あたらしい「本のある暮らしの拠点」をコンセプトとし、提案型・編集型の陳列による本の閲覧スペースの提供と販売、本に関するイベントの開催などを中心に、市内の民間書店や図書館、市民活動と連携しながら、全国で類を見ない、これからの時代にふさわしい本に関する公共サービスを構想、提供する。

4. 施設運営の基本方針

- 【方針1】 本を「読む人」を増やす
- 【方針2】 本を「書く人」を増やす
- 【方針3】 本で「まち」を盛り上げる

5. 施設の構成

①セレクト・ブックストア

専門家ではなくても手に取りやすい内容の本を主として幅広くセレクト、興味を引く工夫をした本の陳列をし、気に入った本は購入することが可能。

②読書席

本棚と一体となった様々な席を設け、ドリンクホルダーを設置し、カウンターで購入したドリンクを楽しみながら本との出会いの時間を過ごせるように配置。

③読書会ルーム

本から得た知識や情報などを共有できる場である読書会用の部屋で、一部開閉式にすることで、トークイベントなどにも使用。

④カンヅメブース

本や論文等を執筆したい人向けの、集中できるブース。

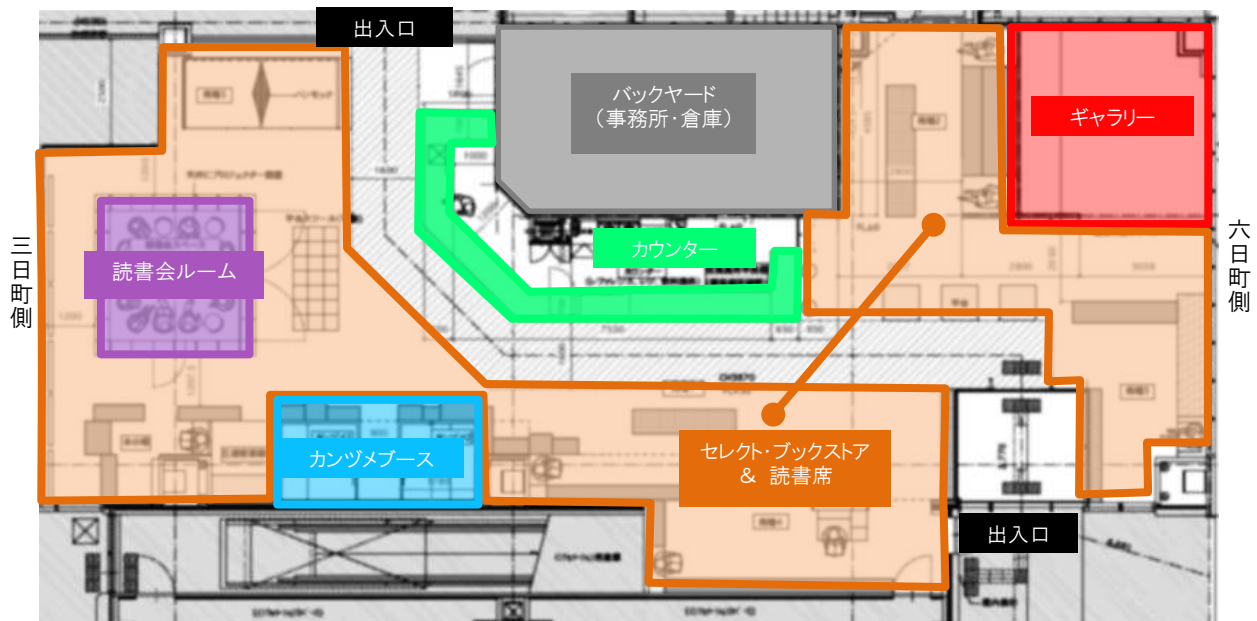
⑤ギャラリー

特定の作家や作品、本の印刷・造本・装丁などに関する展示や企画展等を行うスペース。

⑥カウンター

案内窓口や本・ドリンクのレジカウンター等を設置。

フロアイメージ



約95坪

6. 事業内容

(1) 企画事業

- ①本を読む楽しさを共有する「本のまち読書会」
- ②本の面白さを伝える展示を行う「ブックセンター・ギャラリー」企画展示
- ③本を勧めあうことを楽しむ定期イベント「ブック・ドリンクス」
- ④大学や専門学校の先生を招いて本の話聞く「アカデミック・トーク」
- ⑤本の執筆・出版したい人向けのリーフレットを活用した「出版相談窓口」
- ⑥書き手をサポートする「執筆・出版ワークショップ」
- ⑦特定の作家を決めて市全体で盛り上げる「パワープッシュ作家」
- ⑧作家を招いて八戸を舞台に小説を書いてもらう「八戸の物語プロジェクト」
- ⑨市内書店の選書のサポートを行う「市内書店個性化プロジェクト」
- ⑩市内の小売店・飲食店に本棚を置く「ブックサテライト増殖プロジェクト」

(2) 情報発信

- ①「本のまち八戸」フリーペーパーの発行
- ②Webサイトからの情報発信

(3) セレクト・ブックストア

市民が本に親しむ環境づくりの一助となるよう、市民の本に関する興味関心を高め、本との偶然の出会いによる知的好奇心の向上に寄与するような基準を設けて選書・陳列を行う。